

地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

糖尿病・内分泌代謝内科

部長兼リハビリテーションセンター
副センター長 檜根 晋

りんくう総合医療センター糖尿病・内分泌代謝内科では、糖尿病、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病を中心に診療しています。また甲狀腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患についても診療を行っています。現在、常勤医師は5人で外来および入院患者さんの診療を行っています。



糖尿病患者は近年増加傾向にあり、当院においても多くの患者さんの診療に当たっています。糖尿病は早期発見、早期治療が最も大切です。逆に糖尿病を長年放置し、合併症が進行すると治療に難渋することがしばしばです。健康診断で糖尿病を疑われた人、まず病院を受診していただくようにお勧めしています。

糖尿病の治療としては食事療法、運動療法、薬物療法をバランスよく行っていくことが重要です。しかし、糖尿病のコントロールを長期間にわたり良好に保つことは難しいです。食事、運動などは各個人の生活習慣に密接に関係しています。このため、糖尿病のコントロールを良好に行っていくためには、生活習慣にまで立ち入ったコントロールが必要であり、これが糖尿病治療が難しいといわれる理由です。

このような生活習慣全般の改善を目標とするため、当院においては医師だけでなく、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士などがそれぞれ職種の特徴を生かして相談、指導させていただきます。糖尿病の治療は長期にわたるため、途中で息切れしないように治療を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

NICU/GCCU病棟

看護師長 松本由美

みなさん、産科が舞台となったテレビドラマ「コウノドリ」をご覧になったことはありますか。あのドラマと同じような世界が、当院でも展開されています。今日は当院の事を紹介します。



NICUとは新生児集中治療室であり、少し早く生まれた赤ちゃんや小さく産まれた赤ちゃんに対して、高度な医療処置を行う所です。NICUは、お母さんのお腹の中の環境に近づけるために照明は暗く、室温・湿度も高めに保ち、騒音などにも注意しながら、赤ちゃんが過ごしやすい静かな環境作りを行っています。24時間ご両親の面会が可能であり、赤ちゃんの経過に合わせご両親にタッチングや抱っこなどの育児参加を促し、赤ちゃんのご両親の関係作りができるように支援しています。GCCUは、新生児治療回復室であり、NICUで急性期を過ごした赤ちゃんが退院するまでの時間を過ごす所です。NICU・GCCUの看護では、赤ちゃんの全身管理はもちろんのこと、沐浴やミルクなど成長を促すためのサポートを行っています。ご両親の精神的なケアにも目を向け相談に応じます。時には、退院後も酸素管理が必要な赤ちゃんもいるため、赤ちゃんの個別性にあった育児指導を行っています。

また、ご両親が安心して家に帰れるように、外来や地域の保健センターと連携をし、退院支援も行っています。私たちスタッフは、ご両親が自信と喜びをもって育児ができるように、これからも支援していきたいと思っています。